

Press Release

2017年6月20日

コロラド州のアイコン的絶景: マルーンベルズ

マルーンベルズへのシャトルバスが6月10日に運行開始

コロラド州を代表する風景の[マルーンベルズ](#) (ホワイトリバー国有林内) では山開きのシーズンを迎え、今年もシャトルバスの運行が始まりました。6月10日から10月1日までの運行期間中、日中のマルーンベルズへのアクセスの要となるシャトル便です。



ワイルドフラワーが色を添える夏のマルーンベルズ
© Osamu Hoshino

州都デンバーから355km南西に(車で約3時間半)スキーリゾートとして世界的に有名なアスペンとスノーマスがあります。マルーンベルズはこの2つの街の中間地点に位置し、ベルが連なったような峰々と前景にたたずむ湖の調和が織り成す美しさから、北米大陸で最も撮影される絶景として知られています。自然環境保護の推進と年々増加する訪問者の利便性を考慮し、1977年にシャトルバスが導入されました。

シャトルは[ロアリングフォーク地域運輸局](#) (Roaring Fork Transportation Authority) が運行し、今年の運行期間は6月10日から10月1日です。運行時間は午前8時から午後5時までで、この時間帯はシャトルの利用によってのみマルーンベルズにアクセスが可能です。

シャトルの乗り場は、アスペンの郊外にあるアスペンハイランズ・スキー場の駐車場です。自家用車の場合はここに車を駐車してシャトルに乗り換えます(駐車料金: 平日5ドル、週末10ドル)。アスペンハイランズ発の始発は8時5分発、最終は16:30発。復路は、マルーンベルズで自由に時間を過ごした後、各自のスケジュールに合う時間のシャトルで戻ります(最終便: 17:00発)。時刻表は[こちら](#)

[このページ](#) (ページ下半分) でご確認ください。運賃は大人往復8ドルで、乗車券はアスペンハイランズ駐車場にあるスポーツ用品店Four Mountain Sportsで購入します。アスペンに滞在している場合には、アスペンの街中からキャッスルマルーンという無料バスを利用してシャトルの乗り場まで行くことができます ([こちらのページ](#) の右端「Castle Maroon」のタブをクリック)。

なお、身体障害認定車両、2歳以下の幼児がいる車両、12人以上が乗車する車両などはシャトルを利用する必要がありません。 [こちらのページ](#) (下部Exceptions to the no car rule) をご参照ください。



マルーンベルズ側のシャトル乗場:アスペンの木々の金色がまぶしい9月中旬前後
© Roaring Fork Transportation Authority

マルーンベルズ行きシャトル運行の詳細は[公式サイト](#)でご確認ください。

アスペン・スノーマスについて:

アスペン・スノーマスは州都デンバーから南西へ355kmの地点にあり(車で約3時間半)、世界に名を馳せるスキーリゾートです。冬以外にも、色とりどりのワイルドフラワー(自生の高山植物)が咲き誇る夏やアスペンの木々が辺り一面を黄金に染める秋にも多くの人が訪れます。マルーンベルズを訪問する際は、このアスペンまたはスノーマスでの宿泊が便利です。充実したツアーやプログラムが魅力で、例えば、非営利団体[アスペン環境研究センター](#) (Aspen Center for Environmental Studies) によるハイキングや、[ブレイジング・アドベンチャー](#) (Blazing Adventures) が提供するサイクリングや牧場での屋外ディナーなどがあります。また、フライフィッシングや乗馬、スノーモビルでのマルーンベルズツアーを催行する[T-Lazy-7ランチ](#) (T-Lazy-7 Ranch) も人気です。

アスペン公式サイト: <https://www.aspenchamber.org/>

スノーマス公式サイト: <https://www.qosnowmass.com/>

コロラド州について:

アメリカの屋根とも言えるロッキー山脈に広がるコロラド州は標高が高く、州都デンバー市は1600m、郊外には日本のアスリート達が高地トレーニングを行うボルダー市があります。州の観光資源を代表する国立公園は4つあり、そのうちの一つメサベルデ国立公園は世界文化遺産です。コロラド州は、初夏には色とりどりの高山植物が美しく咲き乱れ、秋はアスペンの森が山々を黄金色に染め、冬にはワールドクラスのスキーが楽しめるといった、四季それぞれの魅力があふれています。数々の鉄道、サイクリングやハイキングのアウトドア、そして、あちらこちらに湧き出る温泉や鉱泉など様々なアトラクションの選択肢があるのも特徴です。また、ロッキー山脈から湧き出る美味しい水を使ったクラフトビール、地産地消のFarm to Table(農園から食卓へ)のコンセプトにもとづく新鮮なオーガニックの野菜や肉を使った料理が味わえるアメリカを代表するカルナリーツーリズムのメッカでもあります。

コロラド州政府観光局

公式サイト: <http://www.visitcolorado.jp/>

Facebook: <http://www.facebook.com/VisitColorado.JP>

Twitter: <http://twitter.com/visitColoradoJP>

本リリースに関するお問い合わせ先:
コロラド・サウスダコタ・ワイオミング州政府観光局内
コロラド州政府観光局 南部貴子
E-mail: info@uswest.tv